



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 鈴木 喬

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役

(氏名) 嶋田 洋秀

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5906-0733

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

平成23年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,057	4.4	1,672	△2.8	1,473	△0.7	820	△0.6
23年3月期第2四半期	21,121	△6.0	1,720	△12.4	1,483	△17.0	824	△19.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 855百万円 (22.2%) 23年3月期第2四半期 699百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	37.67	37.67
23年3月期第2四半期	37.79	37.79

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
24年3月期第2四半期	31,417		20,511			63.7
23年3月期	30,010		19,971			64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,021百万円 23年3月期 19,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	11.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	0.5	1,700	△19.6	1,100	△28.9	600	△23.7	27.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	23,000,000 株	23年3月期	23,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,254,946 株	23年3月期	1,214,499 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	21,773,922 株	23年3月期2Q	21,830,646 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の影響により急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧に伴って鉱工業生産が増加に転じるなど、持ち直しの動きをみせております。個人消費につきましても、震災後には各種イベントの中止が相次ぎ、不要不急の支出を控える動きが広がったことから急速に落ち込みましたが、自粛ムードが緩和する中、地上デジタル放送への移行を控えたテレビの駆け込み需要やエアコン、扇風機、クールビズ関連衣料品といった節電関連特需などから夏場にかけて回復しました。

当社におきましても、東日本大震災の影響を受け、福島工場の操業を一時見合わせておりましたが、設備の点検・整備に取り組んだ結果、4月11日より生産をほぼ全面再開いたしました。

こうした状況の中、当社グループは引き続き「絞り込みと集中」、「世にない商品の開発」、「スピード経営」の3点を基本戦略とし、「デザイン×フレグランス革命」をテーマに掲げ、商品の差別化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、220億57百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

利益面では、引き続き製造コストの削減に取り組み、販売費及び一般管理費につきましても効果的なマーケティング費用の投下を行う一方で、物流コストをはじめとする経費全般の圧縮に努めました。その結果、営業利益16億72百万円（同2.8%減）、経常利益14億73百万円（同0.7%減）、四半期純利益8億20百万円（同0.6%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、81億60百万円（同6.8%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、秋の衣替えに向けた9月の売上高は伸長したものの、東日本大震災の影響で福島工場の操業を約1ヶ月間休止したことによる商品供給力の低下を考慮して、春の衣替えの時期に例年のような販促活動を行なわなかったため、前年同期比で減収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、震災からの復興需要等により、中厚ビニール手袋等の売上が伸長したため、前年同期比で増収となりました。

サーモケア（カイロ）部門は、東日本大震災の影響もあり、冬に向けての消費者の準備が例年以上に早まり、9月の売上高が大幅に伸長したこと等から、前年同期比で増収となりました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、138億97百万円（同3.1%増）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、8月に発売した新感覚の消臭芳香剤「消臭力 ふくポン」の売上が好調だったことや、東日本大震災からの復興に向けたメッセージを込めて制作したテレビコマーシャルが好評だった「消臭力」シリーズ全般の売上高が伸長したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、「ドライペット」シートタイプの売上は堅調に推移しましたが、その他の商品の売上が低迷したため、売上高は前年同期比で減収となりました。

ホームケア（その他）部門は、お米の虫よけ「米唐番」の売上が伸長した他、最近1年間に発売した「おひさまの消臭 ふとん用スプレー」、「トイレの消臭ポット 香りのクリーナーズプレー」、「天然ハーブの自動でシュパッと虫よけ」が売上に寄与したため、前年同期比で増収となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	5,237百万円	2.6%減
ハンドケア（手袋）	1,616百万円	18.7%増
サーモケア（カイロ）	1,307百万円	44.6%増
エアケア（消臭芳香剤）	10,577百万円	4.5%増
湿気ケア（除湿剤）	1,683百万円	6.5%減
ホームケア（その他）	1,635百万円	5.3%増

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して14億7百万円増加し、314億17百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少8億4百万円、受取手形及び売掛金の増加21億76百万円、商品及び製品の増加3億31百万円、投資有価証券の減少1億81百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して8億67百万円増加し、109億6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億30百万円、未払金の増加1億50百万円、未払法人税等の増加3億81百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して5億39百万円増加し、205億11百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加5億80百万円であります。以上の結果、自己資本は200億21百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.2ポイント減少し、63.7%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して3億2百万円減少し、54億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は2億7百万円(前年同期は1億25百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14億31百万円、減価償却費4億9百万円、仕入債務の増加額3億45百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額21億76百万円、たな卸資産の増加額3億65百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は1億98百万円(前年同期は20億87百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入5億円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3億84百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は2億94百万円(前年同期は2億76百万円の使用)となりました。これは、主に配当金の支払2億39百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年4月27日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,399,349	5,594,993
受取手形及び売掛金	4,441,771	6,618,657
有価証券	54,832	56,393
商品及び製品	4,241,596	4,572,976
仕掛品	109,600	173,685
原材料及び貯蔵品	448,188	417,035
繰延税金資産	402,263	389,575
その他	439,097	271,859
貸倒引当金	△13,472	△20,115
流動資産合計	16,523,227	18,075,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,994,534	2,006,817
機械装置及び運搬具（純額）	752,631	716,187
工具、器具及び備品（純額）	240,100	268,948
土地	3,284,182	3,286,602
リース資産（純額）	14,032	57,773
建設仮勘定	26,999	56,261
有形固定資産合計	6,312,482	6,392,589
無形固定資産	282,573	234,299
投資その他の資産		
投資有価証券	5,052,881	4,871,636
長期貸付金	72,219	66,584
繰延税金資産	348,676	344,909
その他	1,418,764	1,432,822
投資その他の資産合計	6,892,541	6,715,952
固定資産合計	13,487,598	13,342,842
資産合計	30,010,825	31,417,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,368,927	5,699,644
リース債務	8,202	23,670
未払金	1,835,295	1,985,976
未払費用	578,352	558,944
未払法人税等	203,126	584,724
未払消費税等	66,706	71,498
返品調整引当金	120,700	123,600
災害修繕等損失引当金	39,100	—
その他	65,717	53,659
流動負債合計	8,286,128	9,101,717
固定負債		
リース債務	13,758	63,060
再評価に係る繰延税金負債	380,774	380,774
退職給付引当金	1,234,189	1,251,593
役員退職慰労引当金	124,033	108,458
その他	—	770
固定負債合計	1,752,755	1,804,656
負債合計	10,038,883	10,906,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	7,955,753	8,536,251
自己株式	△1,722,289	△1,759,181
株主資本合計	20,366,779	20,910,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159,860	166,493
土地再評価差額金	△549,593	△549,593
為替換算調整勘定	△506,498	△505,486
その他の包括利益累計額合計	△896,231	△888,586
新株予約権	82,020	90,140
少数株主持分	419,374	399,590
純資産合計	19,971,942	20,511,529
負債純資産合計	30,010,825	31,417,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,121,918	22,057,756
売上原価	11,349,370	11,874,579
売上総利益	9,772,548	10,183,177
返品調整引当金戻入差額	13,100	△2,900
差引売上総利益	9,785,648	10,180,277
販売費及び一般管理費	8,064,872	8,507,511
営業利益	1,720,775	1,672,765
営業外収益		
受取利息	6,692	4,333
受取配当金	16,885	54,945
仕入割引	98,195	100,967
受取手数料	17,639	1,924
その他	46,990	48,545
営業外収益合計	186,403	210,716
営業外費用		
支払利息	987	781
売上割引	352,280	375,362
持分法による投資損失	43,124	636
その他	27,017	33,427
営業外費用合計	423,409	410,208
経常利益	1,483,769	1,473,274
特別利益		
固定資産売却益	6	3
投資有価証券売却益	100	—
特別利益合計	106	3
特別損失		
固定資産除売却損	12,494	19,540
投資有価証券評価損	4,631	—
災害による損失	—	22,323
特別損失合計	17,126	41,864
税金等調整前四半期純利益	1,466,750	1,431,413
法人税、住民税及び事業税	628,391	576,699
法人税等調整額	2,114	9,967
法人税等合計	630,505	586,667
少数株主損益調整前四半期純利益	836,245	844,746
少数株主利益	11,342	24,600
四半期純利益	824,902	820,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	836,245	844,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,329	4,295
為替換算調整勘定	△24,934	2,459
持分法適用会社に対する持分相当額	△38,072	3,734
その他の包括利益合計	△136,336	10,489
四半期包括利益	699,908	855,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700,565	827,790
少数株主に係る四半期包括利益	△656	27,444

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,466,750	1,431,413
減価償却費	456,809	409,441
固定資産除売却損益(△は益)	12,487	19,537
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	4,531	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,126	6,643
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,220	16,477
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,050	△15,575
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△13,100	2,900
受取利息及び受取配当金	△23,577	△59,279
支払利息	987	781
為替差損益(△は益)	8,874	6,952
災害損失	—	22,323
持分法による投資損益(△は益)	43,124	636
売上債権の増減額(△は増加)	△2,143,365	△2,176,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,540	△365,102
仕入債務の増減額(△は減少)	62,942	345,014
その他	193,495	98,978
小計	188,454	△255,122
利息及び配当金の受取額	23,671	146,289
利息の支払額	△987	△781
災害損失の支払額	—	△65,555
法人税等の支払額	△336,341	△32,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,202	△207,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△462,562	△384,488
有形固定資産の売却による収入	6	51
投資有価証券の取得による支出	△1,617,784	△4,123
投資有価証券の売却による収入	1,100	—
関係会社の清算による収入	—	78,667
その他	△8,375	7,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,087,614	198,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	—
自己株式の取得による支出	△319	△97
自己株式の売却による収入	5,202	—
配当金の支払額	△240,375	△239,647
少数株主への配当金の支払額	△36,807	△47,228
その他	△3,778	△7,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,077	△294,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,694	1,288
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,506,589	△302,759
現金及び現金同等物の期首残高	7,169,746	5,730,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,663,157	5,428,076

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客に対する売上高	7,644,569	13,477,349	21,121,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,644,569	13,477,349	21,121,918
セグメント利益	1,082,702	638,073	1,720,775

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客に対する売上高	8,160,583	13,897,173	22,057,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,160,583	13,897,173	22,057,756
セグメント利益	981,889	690,876	1,672,765

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。